

調査研究部会 平成23年度実績に係る自己評価一覧表

○国立健康・栄養研究所

	自己評価
1. 生活習慣病予防のための運動と食事の併用効果に関する研究	S
2. 日本人の食生活の多様化と健康への影響、及び食生活の改善施策に関する	A
3. 「健康食品」を対象とした食品成分の有効性評価及び健康影響評価に関する調査研究	A
4. 研究所の研究能力の向上及び食育推進のための調査研究	A
5. 論文、学会発表等の促進	S
6. 講演会等の開催、開かれた研究所への対応	S
7. 研究実施体制等の整備に関する事項を達成するための措置	A
8. 健康増進法に基づく業務に関する事項を達成するための措置	S
9. 社会的・行政ニーズへの対応に関する事項を達成するための措置	A
10. 国際協力、産学連携等対外的な業務に関する事項を達成するための措置	S
11. 栄養情報担当者(NR)制度に関する事項を達成するための措置	S
12. 情報発信の推進に関する事項を達成するための措置	S
13. 運営体制の改善に関する事項を達成するための措置	A
14. 研究・業務組織の最適化に関する事項を達成するための措置	A
15. 職員の人事の適正化に関する事項を達成するための措置	A
16. 事務等の効率化・合理化に関する事項を達成するための措置	A
17. 評価の充実に関する事項を達成するための措置	A
18. 業務運営全体での効率化を達成するための措置	A
19. 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する事項を達成するための措置	A
20. 経費の抑制に関する事項を達成するための措置	A
21. その他の業務運営に関する重要事項を達成するための措置	A

※平成23年度から新中期計画期間となり評価項目の構成が異なるため平成22年度評価結果との対比はしていない。

○労働安全衛生総合研究所

	自己評定
1 労働現場のニーズの把握と業務への積極的な反映	A
2 プロジェクト研究等	A
3 研究評価の実施	A
4 労働安全衛生に関する法令、国内外の基準制定・改定への科学技術的貢献	A
5 学会発表等の促進	S
6 インターネット等による研究成果情報の発信	S
7 講演会等の開催	A
8 知的財産の活用促進	A
9 労働災害の原因の調査等の実施	S
10 労働安全衛生分野の研究の振興	A
11 労働安全衛生分野における国内外の若手研究者等の育成への貢献	A
12 研究協力の推進	S
13 機動的かつ効率的な業務運営	A
14 業務運営の効率化に伴う経費節減	S
15 運営費交付金以外の収入の拡大	A
16 予算、収支及び資金計画	A
17 人事に関する計画	A
18 施設・設備に関する計画	B
19 公正適切な業務運営の取組	A

※平成23年度から新中期計画期間となり評価項目の構成が異なるため平成22年度評定結果との対比はしていない。

○医薬基盤研究所

	自己評定	22年度の 評定結果
1. 社会的ニーズ及び厚生労働省の政策課題を踏まえた戦略的事業展開、研究成果の普及及びその促進	S	S
2. 外部との交流と共同研究の推進、研究基盤・研究環境の整備と研究者の育成	S	A
3. コンプライアンス、倫理の保持等、無駄な支出の削減・業務効率化の体制整備	A	A
4. 外部有識者による評価の実施・反映、情報公開の促進	A	B
5. 次世代ワクチンの研究開発	S	A
6. 医薬品等の毒性等評価系構築に向けた基盤的研究	S	S
7. 難病治療等に関する基盤的研究	S	S
8. 難病・疾病資源研究	A	A
9. 薬用植物	S	A
10. 霊長類	A	A
11. 基礎研究推進事業	A	A
12. 希少疾病用医薬品等開発振興事業	S	A
13. 実用化研究支援事業及び承継事業	A	B
14. 機動的かつ効率的な業務運営	A	A
15. 業務運営の効率化に伴う経費節減等	A	A
16. 予算、収支計画及び資金計画、短期借入額の限度額、剰余金の使途	A	A
17. その他主務省令で定める業務運営に関する事項(人事に関する事項、セキュリティの確保、施設及び設備に関する事項)	A	A